

茂原市自治基本条例を考える市民の会 第10回会議 概要

開催日時	平成24年6月27日(水) 18時～
開催場所	茂原市役所502会議室ほか
出席者	実行委員会委員35名(うち6名所用のため欠席) 事務局(十枝企画政策課長、花沢企画政策課主幹、深山企画政策課係長、風戸企画政策課主査)
会議次第	1.開会 2.あいさつ 3.議題 (1)まちづくり分科会について (2)その他 4.閉会
会議要旨	2.議題 (1)まちづくり分科会について ○リーダー会議の報告 ・平日の夜は参加が厳しい場合もある。土曜日に日程を組んでみてはどうか。 ・(事務局)試験的に土曜日の午前中の日程を組んでみたい。以前お示ししたスケジュール案で、7/31に開催予定であったものを翌日の8/1にずらし、アドバイザーの関谷昇氏(千葉大学法経学部准教授)の助言をいただきたい。 次回7/17は前半を現在のまちづくり分科会の総括に充て、後半を条例づくり分科会の今後の展開を考える時間としたい。 ・七夕まつりで、人が集まる場所でどんなまちにしたいかアンケートを取ってはどうか。七夕にちなんで、短冊にどんなまちになってほしいかの願いを書いてもらってもいいのではないか。 ・市民の会がやっていることをPRしたほうがよい。会報を定期的に発行する、自治会で回覧するなど。 ○分科会ごとに分かれてグループワーク 【第一分科会】 ゲストを招いて子育て支援の現場の話聞いた。私たち委員は子育てから時間が経過しているメンバーも多く、とても参考になった。印象に残った言葉は「子育て支援は親支援」。全部をひっくるめて考えなくてはならない。キーワードは「傾聴」。子どもに限った話ではないが、子どもの話をよく聞き、子どもの力を引き出すこと。 行政では横のつながり、連携がとれておらず、一つの問題も複数の課にまたがることも。支援を要する子どもを一本化して最初から最後まで責任を持って見るような体制づくりが必要。

八千代市では「元気子ども課」というセクションがあり、男性の育休取得者も増えている。茂原市の子育て支援課は児童家庭課の名前が変わっただけ。

学校現場については、教職員も頑張っているのはわかるが、余裕がない。問題児が複数いると対応しきれない。学校支援ボランティアに入ってもらいなど、支援できる体制を整えていく必要がある。

NPOなどの市民活動支援については生活課が担当しているとのことだが、一か所で全てが把握できる部署が必要。

【第二分科会】

今日まとめるつもりでペーパーを用意し、メーリングリストに投じておいた。福祉について検討する中で浮かび上がってきたキーワードは、福祉に限らず他の分野にも共通して言えること。

お金のことについて改めてもう一度理解する必要がある。わかりやすい資料の提供を事務局にお願いした。

そもそも福祉の範囲はどこまでかという話題もあった。協働を進める上での行政の役割、委託の方法などの話も出た。

自助・公助・共助とある中で、特に共助について、いろいろな切り口で検討を進める必要がある。地区社協や自治会など、助け合いのしくみの構築が必要。

【第三分科会】

メンバーが課題と思うものを持ち寄り、リーダーから考え方についての発表があった。都市基盤についてあり方を考える中で、情報の共有や公開などが根本的な問題であることを共有できた。

議会や議員に対しても改善すべき点が挙げられた。

後日、記録担当からメーリングリストにまとめたものを送る予定。